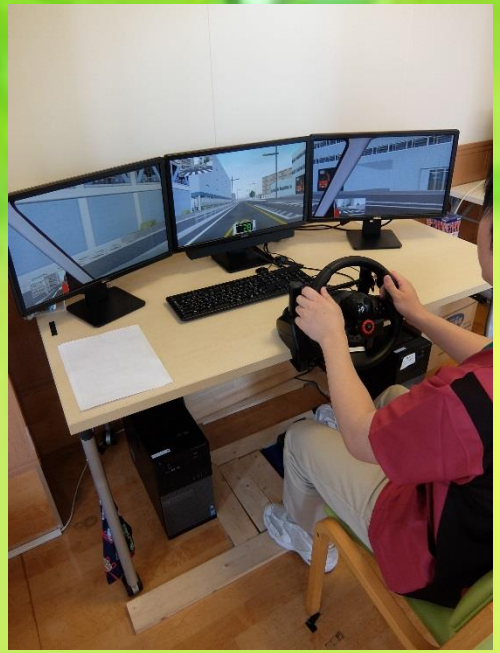
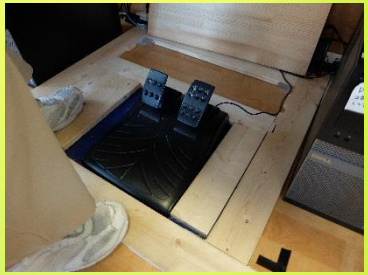


ドライブシュミレーター

～徳山リハビリテーション病院～

上記病院へお邪魔し、リハビリテーション部 澄田作業療法士へお話をお伺いしました。（H29.5 現在）



～車が、生活に欠かせない時代だからこそ～

今、運転に関するリハビリは、どんなものがあるのでしょうか？

そのひとつとしてドライブシュミレーター（高次機能障害や麻痺のかたの自動車運転の再開を支援）があります。

目的は、技能だけでなく、危険予測を立てられるかどうかに主眼が置かれます。使用のメリットは、事故の想定ができるということ。また、運転リプレイを見ることができ、客観的に事故場面の理解をすることができ、測定評価が行えることです。デメリットは操作感覚（体感）がつかみ難いこと。（入院患者用で一人/１日/１～２回の利用）

あくまで自身の状況を図る総合的な指標のひとつですが、出来ない部分をトレーニングすることにも利用できます。また、実際の天気、交通環境と技術を考慮して使うことも重要です。４月からは、実際に教習所で教官の指導のもと、教習所等で実車運転することも開始しています。

・ホンダセーフティナビ（ドライブシュミレーター）

http://www.honda.co.jp/safetyinfo/simulator/safetynavi/rehabilitation.html

（ひとつの例であり、各社様々な製品が存在します）